

観光地や商業施設との連携に関する他県事例
と市町アンケート結果

観光地や商業施設との連携に関する他県事例①

■既存商業施設内での待合環境整備「バス待ち処」	
自治体	提携先
熊本県熊本市	産交バス・熊本都市バス・熊本電鉄バス イオン・マックスバリュ・セブンイレブン・ファミリーマート・ローソン

<事例の詳細>

【バス待ち処の概要】

スーパー・コンビニ店内でバスの待合ができ、イートインスペースなどを活用した待合所やトイレを提供

【特長】

<快適な待合環境>

- ・イートインスペース等でバス到着までの待合ができる
- ・トイレの利用が可能
- ・時刻表の掲示や配布が可能

<協力店舗>

- ・スーパー5店舗：イオン、マックスバリュなど
- ・コンビニ52店舗：セブンイレブン、ファミリーマートなど

<自治体の関与状況>

- ・市が発案し、商業施設や交通事業者に相談し取り組み開始
- ・費用は、バス待ち処と認定されているコンビニ等の商業施設に掲示するステッカー発行費のみ

【成果・効果】

- ・新たにベンチや屋根の設置には時間とコストがかかるため、**既存の施設を活用し、コスト削減が図った**
- ・雨天や強い日差しの日でも**快適にバスを待つことが可能**
- ・商業施設内での待機により、**ついでに買い物**することができ**商業施設にとってもメリットがある**

<利用イメージ>



出典) 熊本市ホームページ

<バス待ち処新聞記事>



<備考>

なし

<出典>

「バス待ち処」始めました！

https://www.city.kumamoto.jp/hpKiji/pub/detail.aspx?c_id=5&id=21820&class_set_id=3&class_id=665

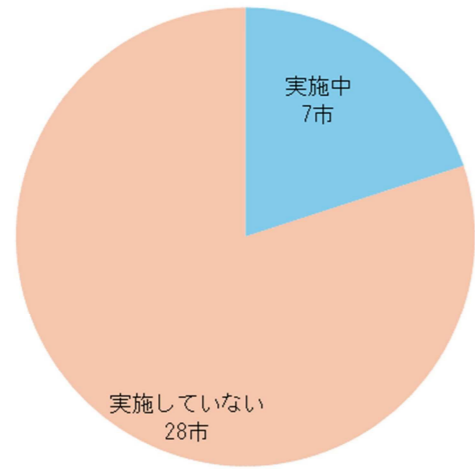
「バス待ち処」について(熊本市)

https://www.city.kumamoto.jp/common/UploadFileDsp.aspx?c_id=5&id=2432&sub_id=20&flid=150860

期待される効果	実現に向けた留意点
<ul style="list-style-type: none"> ・観光地・都市部・過疎地域まで幅広く公共交通の満足度向上、利用促進が期待される ・商業施設の利用者増加が期待される 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施にあたっては、商業施設と協定の締結などが必要

◎沿線商業施設・観光施設を活用した地域公共交通待合環境整備について

＜実施状況＞



＜待合環境整備施設＞

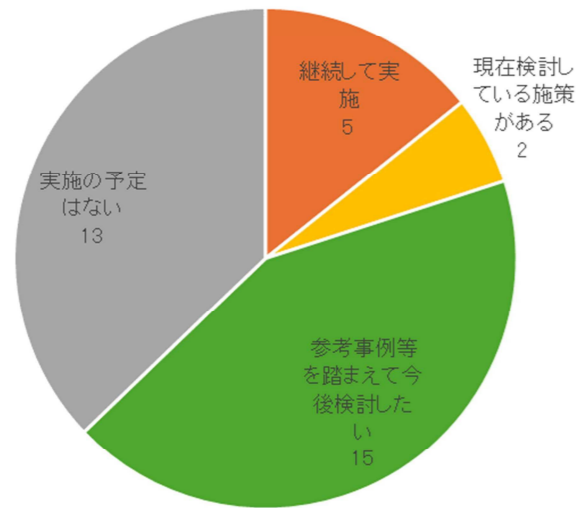
実施市町	観光施設 (●●城跡、 ●●博物館など)	商業施設 (●●店、 コンビニエンスストアなど)	公共施設 (●●役場など)	医療施設 (●●病院、 ●●診療所など)	自由意見
西伊豆町	-	○	○	-	
伊東市	-	-	○	-	伊東駅の建物内に東海バス案内所・観光タクシー案内所があり環境整備されたバス停、タクシープールがその案内所から確認できるようになっている その案内所に最新の市内観光情報等を提供しており、今後も続けていきたい
富士宮市	-	○	○	-	
長泉町	-	○	○	○	建物内ではないが福祉会館、岡村記念病院、静岡医療センターの屋根下部分に待合ベンチが設置されている。役場前とエスポート前に屋根付の待合ベンチが設置されている。
藤枝市	○	-	-	-	道の駅、主要な公園での設置
吉田町	-	-	○	-	
磐田市	-	○	○	○	

＜事業に関する自治体の関与状況＞

実施市町	自治体は主体的に実施していないが、交通・観光・商業事業者からの打診・提案を受けて、連携・調整	自治体が交通事業者に打診・依頼	自治体が観光・商業事業者に打診・依頼	自治体が費用負担	自由意見
西伊豆町	○	-	-	-	
伊東市	-	-	-	-	
富士宮市	○	-	-	○	
長泉町	○	-	-	-	施設側の好意で設置。
藤枝市	-	-	○	-	
吉田町	○	-	○	-	
磐田市	-	-	○	-	

実施市町
西伊豆町
伊東市
富士宮市
長泉町
藤枝市
吉田町
磐田市

＜今後の実施予定＞



	継続して実施	現在検討している施策がある	参考事例等を踏まえて今後検討したい	実施の予定はない
下田市	-	-	-	○
東伊豆町	-	-	-	○
河津町	-	-	○	-
南伊豆町	-	-	○	-
松崎町	-	-	○	-
西伊豆町	○	-	-	-
沼津市	-	-	○	-
熱海市	-	-	-	○
三島市	-	-	-	○
伊東市	○	-	-	-
伊豆市	-	-	○	-
伊豆の国市	-	○	-	-
函南町	-	-	-	○
富士宮市	○	-	-	-
富士市	-	-	○	-
裾野市	-	-	○	-
御殿場市	-	-	-	○
清水町	-	-	-	○
長泉町	-	-	○	-
小山町	-	-	-	○
静岡市	-	○	-	-
島田市	-	-	-	○
焼津市	-	-	○	-
藤枝市	-	-	○	-
牧之原市	-	-	○	-
吉田町	○	-	-	-
川根本町	-	-	-	○
浜松市	-	-	○	-
磐田市	○	-	-	-
掛川市	-	-	-	○
袋井市	-	-	-	○
湖西市	-	-	○	-
御前崎市	-	-	○	-
菊川市	-	-	○	-
森町	-	-	-	○

◎とりまとめ

＜実施状況＞

・35市町のうち7市町が実施中(西伊豆町、伊東市、富士宮市、長泉町、藤枝市、吉田町、磐田市)

＜待合環境整備施設＞

- ・西伊豆町は、「商業施設、公共施設」に待合環境を整備
- ・伊東市は伊東駅の建物内に、バス案内所、観光案内所、待合環境の整備を実施
- ・富士宮市は、「商業施設、公共施設」に待合環境を整備
- ・長泉町は、公共施設や医療施設の屋根の下にベンチを設置。また、役場前や商業施設前に屋根付きの待合ベンチを設置
- ・藤枝市は道の駅や主要な公園に待合環境を整備
- ・吉田町は「公共施設」に待合環境を整備
- ・磐田市は、「商業施設、公共施設、医療施設」に待合環境を整備

＜事業に関する自治体の関与状況＞

- ・西伊豆町、富士宮市、吉田町は「自治体は主体的に実施していないが、交通・観光・商業事業者からの打診・提案を受けて、連携・調整を担っている」
- ・長泉町は施設側の好意でベンチを設置
- ・藤枝市、吉田町、磐田市は「自治体が観光・商業事業者に打診・依頼している」
- ・富士宮市は「自治体が費用負担を行っている」

＜今後の実施予定＞

- ・5市が「継続して実施」
- ・2市が「現在検討している施策がある」
- ・15市町が「参考事例を踏まえて今後検討したい」と回答

観光地や商業施設との連携に関する他県事例②

■ 郊外大型商業施設におけるバス乗り継ぎ拠点の整備

自治体	提携先
三重県四日市市	三重交通(株) イオン(株)

<事例の詳細>

【制度・事業の概要】

- ・2019年11月16日にリニューアルオープンしたイオンタウン四日市の敷地内にバス停留所を移設し、2020年2月1日から路線バスの乗り入れを開始
- ・イオンタウン株式会社から商業施設内にバス待合所のスペースの提供(土地の無償貸与)を受け、市が冷暖房を備えたバス待合所を整備

< 乗り入れ路線名・本数 >

路線名	現在の運行本数	乗り入れ本数
平田四日市線	平日 10往復、 土日祝 7往復	全便
和無田(長沢)線	平日 5往復、 土日祝 運休	全便
磯津高花平線	平日 9往復、 土日祝 7往復	平日 4往復※ 土日祝 3往復※

※区線センター行、高花平行きのみ

出典) 四日市市ホームページ

【特長】

- ・商業施設内にバス停留所があることで、買い物や施設利用の際に公共交通機関を利用しやすくなる
- ・公共交通機関の利用が促進されることで、車の利用が減少し、交通渋滞の緩和や環境負荷の軽減につながる

【成果・効果】

- ・利用者からの声として、以下の意見があった
- ▶待合所に冷暖房が完備されているので、快適に待つことができ、とても良い取り組みだと思う。
- ▶今後も、イオンタウン四日市泊へバスで行こうと思う。
- ▶他のバス停留所がこのような待合所になると利用が増えると思う。
- ・沿線地区からも
- ▶イオンタウン四日市泊へ乗り入れたことにより、買い物へ行くのに利用でき、非常に便利になったとの声があった

< バス待合所 >



出典) 四日市市ホームページ

<備考>

なし

<出典>

令和02年01月27日 定例記者会見資料 郊外大型商業施設におけるバス乗り継ぎ拠点の整備について

<https://www.city.yokkaichi.lg.jp/www/contents/1579572966232/index.html>

イオンタウン四日市泊へのバス路線の乗り入れ状況について

<https://www5.city.yokkaichi.mie.jp/www/contents/1583126042772/files/shiryuu3.pdf>

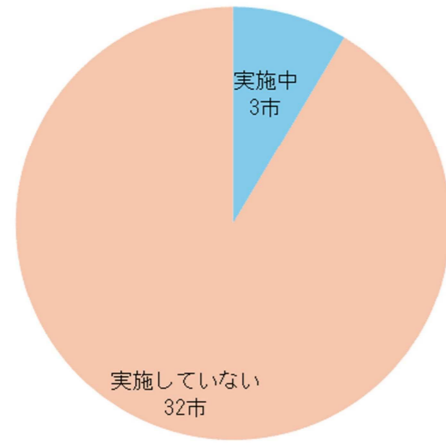
令和3年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要(全体)

<https://www.city.yokkaichi.lg.jp/www/contents/1642468529715/files/siryuu2.pdf>

期待される効果	実現に向けた留意点
・待合環境が改善され、公共交通の利用促進や満足度向上が期待される	・市町・バス事業者・商業施設等が連携して進めていく必要がある

◎大型商業施設等と連携した交通結節点整備について

＜実施状況＞



実施市町
富士宮市
浜松市
磐田市

＜対象とする交通モード＞

実施市町	鉄道	路線バス・コミュニティバス	デマンド交通 (デマンドタクシー・デマンドバス)	自家用車 (パークアンドライド)	自転車 (サイクルアンドライド)	レンタサイクル・シェアサイクル	電動キックボード	自由意見
富士宮市	○	○	○	-	○	-	-	・イオンモール内にバス停を設置 ・駅とイオンモールが隣接し、イオンモールにおいて買い物客以外の駐輪を抑制するため、JR富士宮駅やJR西富士宮駅に駐輪場を整備・管理
浜松市	○	○	-	○	○	-	-	
磐田市	-	○	○	-	-	-	-	

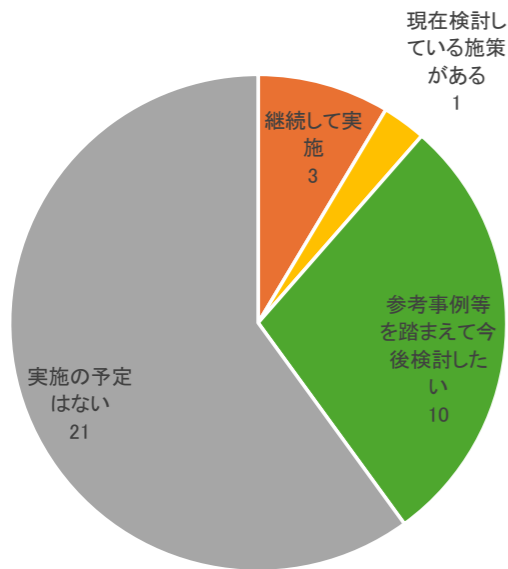
＜連携している施設(商業施設・観光施設)＞

実施市町	観光エリア単位 (●●地区)	商店街等のエリア単位 (●●商店街、複合商業施設など)	観光施設単位 (●●城跡、●●博物館など)	商業施設単位 (●●店など)
富士宮市	-	-	-	○
浜松市	-	-	-	○
磐田市	-	-	-	○

＜自治体の関与状況＞

実施市町	自治体は主体的に実施していないが、交通・観光・商業事業者からの打診・提案を受けて、連携・調整	自治体が交通事業者に打診・依頼	自治体が観光・商業事業者に打診・依頼	自治体が費用負担
富士宮市	○	-	-	-
浜松市	-	-	○	-
磐田市	-	-	-	○

＜今後の実施予定＞



	継続して実施	現在検討している施策がある	参考事例等を踏まえて今後検討したい	実施の予定はない
下田市	-	-	-	○
東伊豆町	-	-	-	○
河津町	-	-	-	○
南伊豆町	-	-	-	○
松崎町	-	-	-	○
西伊豆町	-	-	-	○
沼津市	-	-	○	-
熱海市	-	-	○	-
三島市	-	-	-	○
伊東市	-	-	-	○
伊豆市	-	-	○	-
伊豆の国市	-	-	-	○
函南町	-	-	-	○
富士宮市	○	-	-	-
富士市	-	-	○	○
裾野市	-	-	-	○
御殿場市	-	-	-	○
清水町	-	-	○	-
長泉町	-	-	-	○
小山町	-	-	-	○
静岡市	-	-	-	-
島田市	-	-	-	○
焼津市	-	-	○	-
藤枝市	-	-	○	-
牧之原市	-	○	-	-
吉田町	-	-	-	○
川根本町	-	-	-	○
浜松市	○	-	-	-
磐田市	○	-	-	-
掛川市	-	-	-	○
袋井市	-	-	○	-
湖西市	-	-	○	-
御前崎市	-	-	○	-
菊川市	-	-	-	○
森町	-	-	-	○

◎とりまとめ

＜実施状況＞

・35市町のうち3市町が実施中(富士宮市、浜松市、磐田市)

＜対象とする交通モード＞

・富士宮市では鉄道、路線バス・コミュニティバス、デマンド交通、自転車を対象とし、**JR富士宮駅に隣接するイオンモールと連携し、駐車場内にバス停を設置**
 ・浜松市では鉄道、路線バス・コミュニティバス、自家用車、自転車を対象
 ・磐田市では路線バス・コミュニティバス、デマンド交通、自転車を対象

＜連携している施設＞

・3市町とも商業施設単位での連携である


＜自治体の関与状況＞

・富士宮市は、「自治体は主体的に実施していないが、交通・商業事業者からの打診・提案を受けて、連携・調整を担っている」
 ・浜松市は、「自治体が商業事業者に打診・依頼している」
 ・磐田市は、「自治体が費用負担を行っている」

＜今後の実施予定＞

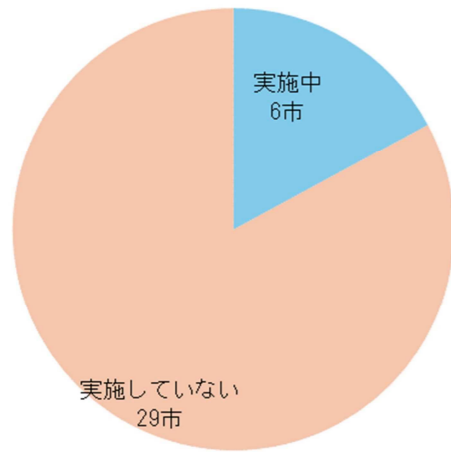
・3市町も「継続して実施」
 ・牧之原市では「現在検討している施策がある」
 ・10市町が「参考事例を踏まえて今後検討したい」と回答

観光地や商業施設との連携に関する他県事例③

■大型商業施設と連携した交通結節点整備(パークアンドライド・電動キックボードなど)	
自治体	提携先
京都府京都市	近畿運輸局 イオンモール(株) タイムズ24(株)
<事例の詳細>	
<p>【実証実験の概要】 <パークアンドライド> 設置場所: イオンモール 京都五条駐車場 実施期間: 11月1日～11月29日の平日 駐車台数: 1,700台 駐車可能時間: 9:00～21:00 利用方法: 駐車場利用当日に、京都市内の観光施設の入館チケットの半券、イオンモール内での当日のお買い上げレシートをインフォメーションに提示すると、駐車場を500円で利用可能</p> <p><「LUUP」との連携> ・電動キックボード・電動アシスト自転車のシェアサービス「LUUP」を提供 ・最寄り駅や近隣観光地までの移動手段として利用可能 ・パークアンドライド利用者限定特典: イオンモール京都五条のポート発着の乗降車に限定し、30分間の利用が無料</p> <p>【成果・効果】 ・パークアンドライドの利用により、公共交通機関の利用促進 ・観光シーズンにおける市内の交通渋滞を緩和 ・商業施設や観光施設の来訪客の増加 ・Luupの電動キックボード、電動アシスト自転車の認知拡大</p>	
<p style="text-align: right;">< パーク&ライド駐車場利用方法 ></p>  <p style="text-align: right;">出典) イオンモールKYOTOホームページ</p>	
<備考>	
なし	
<出典>	
タイムズ24株式会社ホームページ/京都市と連携したパークアンドライドの取り組みについて https://www.times24.co.jp/news/2024/10/20241025-1.html	
京都市ホームページ https://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/page/0000333959.html	
期待される効果	実現に向けた留意点
・観光地周辺に大型商業施設がある地域において、公共交通の利用促進や商業施設の利用者増加が期待される	・市町・バス事業者・商業施設等が連携して進めていく必要がある

◎沿線商業施設・観光施設と連携した地域公共交通利用時に使用できるクーポン配布について

＜実施状況＞



実施市町
熱海市
富士宮市
御殿場市
静岡市
藤枝市
掛川市

＜クーポンの種類＞

実施市町	地域公共交通の割引 (乗り放題等)	観光施設・商業施設の割引 (割引券等)	自由意見
熱海市	○	○	
富士宮市	○	-	イオンモールでの買い物1,000円につき、市営公共交通で使える100円の乗車補助券を一人2枚まで交付(当日限り有効)。乗車補助券の利用分については、イオンモールで負担。
御殿場市	-	○	施設の入場券がセットになった乗車券
静岡市	○	○	
藤枝市	-	○	期間を定め、富士山静岡空港アクセスバスの利用者に対してクーポン券を配布
掛川市	○	-	

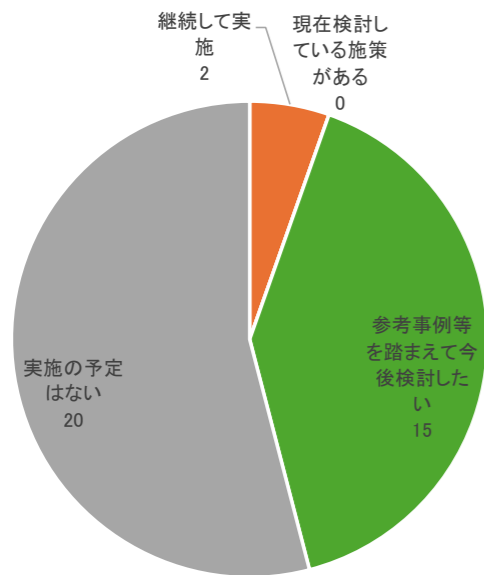
＜クーポンの対象範囲＞

実施市町	観光エリア単位 (●●地区)	商店街等のエリア単位 (●●商店街、複合商業施設など)	観光施設単位 (●●城跡、●●博物館など)	商業施設単位 (●●店など)	自由意見
熱海市	-	-	○	○	
富士宮市	-	-	-	○	市営公共交通(宮バス・宮タク)の支払いのみ有効
御殿場市	-	-	○	-	
静岡市	○	-	-	-	
藤枝市	-	-	○	○	
掛川市	-	-	-	-	

＜事業に関する自治体の関与状況＞

実施市町	自治体は主体的に実施していないが、交通・観光・商業事業者からの打診・提案を受けて、連携・調整	自治体が交通事業者に打診・依頼	自治体が観光・商業事業者に打診・依頼	自治体が費用負担	自由意見
熱海市	-	-	-	-	
富士宮市	○	-	-	-	券の利用につき、イオンモール、市、運行公共交通事業者と協定を結んでいる。
御殿場市	-	-	-	-	交通・観光事業者が独自で実施している。
静岡市	-	-	-	-	
藤枝市	-	-	○	○	空港関連観光振興の県補助事業として実施した。
掛川市	○	-	-	-	

＜今後の実施予定＞



	継続して実施	現在検討している施策がある	参考事例等を踏まえて今後検討したい	実施の予定はない
下田市	-	-	-	○
東伊豆町	-	-	○	○
河津町	-	-	-	○
南伊豆町	-	-	-	○
松崎町	-	-	○	-
西伊豆町	-	-	-	○
沼津市	-	-	○	-
熱海市	○	-	-	-
三島市	-	-	-	○
伊東市	-	-	-	○
伊豆市	-	-	○	-
伊豆の国市	-	-	-	○
函南町	-	-	-	○
富士宮市	○	-	-	-
富士市	-	-	○	○
裾野市	-	-	-	○
御殿場市	-	-	-	○
清水町	-	-	-	○
長泉町	-	-	-	○
小山町	-	-	-	○
静岡市	-	-	-	-
島田市	-	-	-	○
焼津市	-	-	○	-
藤枝市	-	-	○	-
牧之原市	-	-	○	-
吉田町	-	-	○	○
川根本町	-	-	○	-
浜松市	-	-	○	-
磐田市	-	-	○	-
掛川市	-	-	-	○
袋井市	-	-	○	-
湖西市	-	-	○	-
御前崎市	-	-	○	-
菊川市	-	-	-	○
森町	-	-	-	○

◎とりまとめ

＜実施状況＞

・35市町のうち6市町が実施中(熱海市、富士宮市、御殿場市、静岡市、藤枝市、掛川市)

＜クーポンの種類＞

- ・「地域公共交通の割引」は4市(熱海市、富士宮市、静岡市、掛川市)が実施中
- ・「観光施設・商業施設の割引」は4市(熱海市、御殿場市、静岡市、藤枝市)が実施中
- ・富士宮市では、イオンモールでの買い物1,000円につき、市営公共交通で使える100円の乗車補助券を一人2枚まで交付
- ・藤枝市は富士山静岡空港アクセスバスの利用者に対してクーポン券を配布

＜クーポンの対象範囲＞

- ・「観光エリア単位」で実施しているのは静岡市のみである
- ・「観光施設単位」で実施しているのは熱海市、御殿場市、藤枝市である
- ・「商業施設単位」で実施しているのは熱海市、富士宮市、藤枝市である

＜事業に関する自治体の関与状況＞

- ・富士宮市、掛川市では、「自治体は主体的に実施していないが、交通・観光・商業事業者からの打診・提案を受けて、連携・調整を担っている」
- ・藤枝市では、「自治体が観光・商業事業者に打診・依頼している」、「自治体が費用負担を行っている」

＜今後の実施予定＞

- ・熱海市、富士宮市は「継続して実施」
- ・15市町で「参考事例を踏まえて今後検討したい」と回答

観光地や商業施設との連携に関する他県事例④

■観光施設の混雑状況を配信するデジタルサイネージの設置

自治体	提携先
三重県伊勢市	JR西日本 伊勢市観光協会 株式会社VACAN

<事例の詳細>

【制度・事業の概要】

- ・鉄道駅や観光案内所に設置した非接触型デジタルサイネージを活用し、市内の**主要観光地のリアルタイム混雑情報**や**レンタサイクルの貸し出し状況を可視化**
- ・スマートフォンを持っていなくとも、混雑情報等を知ることが可能

< JR伊勢市駅デジタルサイネージ >



出典:

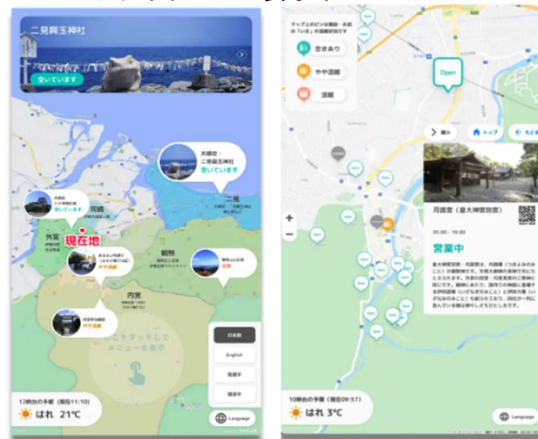
【特長】

- ・**観光地の混雑状況**や**観光スポットの紹介**、地図などを表示し、観光客にとって便利な情報を提供
- ・**多言語対応**しており、外国人観光客にも利用しやすい
- ・**公共交通機関の運行状況**や**遅延情報**、**乗り換え案内**などをリアルタイムで表示することで、観光客や地元住民の移動がスムーズに

【成果・効果】

- ・来訪者が任意のタイミングでリアルタイムの混雑情報を手軽に把握できる環境を整備し、分散観光を促進
- ・観光地(伊勢神宮等)の混雑を抑制することで、観光客の満足度の低下や地域住民の不安といったオーバーツーリズム等の課題の解決

< サイネージの表示イメージ >



出典)株式会社VACANホームページ

<備考>

なし

<出典>

伊勢の観光で混雑を避けるための伊勢デジタル交通情報ガイド(公益社団法人 伊勢市観光協会)

<https://corp.vacan.com/company/news/news-ise2.html>

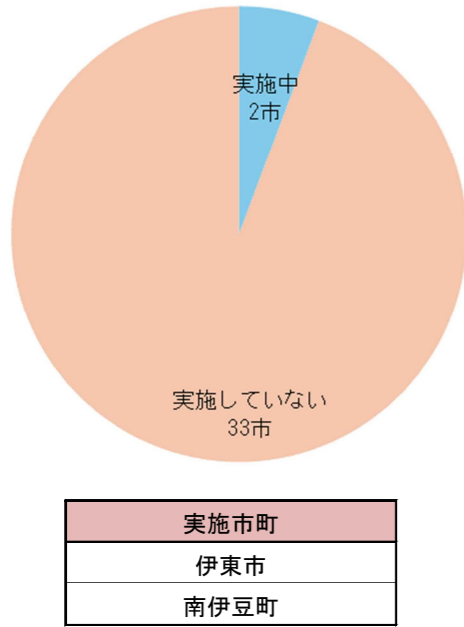
伊勢市観光協会と伊勢市の観光DXを推進。市内の主要観光地の混雑状況を、非接触型デジタルサイネージで配信開始。(株式会社VACAN)

<https://ise-kanko.jp/StDocs/transportation-guide/>

期待される効果	実現に向けた留意点
<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の運行情報等の表示により利用者の利便性が向上 ・観光客が集中する主要観光地(富士山周辺等)等において、観光客の分散により混雑の緩和が期待される 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルサイネージの設置や、混雑状況のモニタリングデータとの連携が必要となる

◎交通拠点(駅・バス停等)における観光施設の混雑情報発信について

＜実施状況＞



＜混雑情報を発信している交通拠点＞

実施市町	地域公共交通の割引 (乗り放題等)	観光施設・商業施設の割引 (割引券等)
伊東市	○	-
南伊豆町	-	○

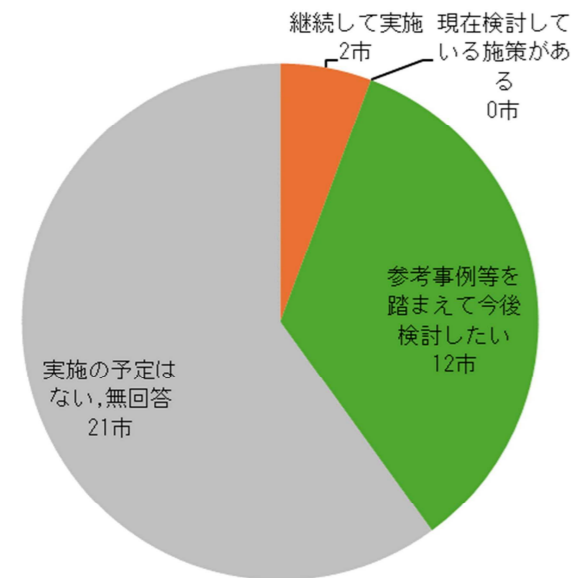
＜発信している混雑情報の対象施設＞

実施市町	観光エリア単位 (●●地区)	商店街等のエリア単位 (●●商店街、複合 商業施設など)	観光施設単位 (●●城跡、 ●●博物館など)	商業施設単位 (●●店など)
伊東市	-	-	○	-
南伊豆町	-	-	○	-

＜事業に関する自治体の関与状況＞

実施市町	自治体は主体的に実施していないが、交通・観光・商業事業者からの打診・提案を受けて、連携・調整	自治体が交通事業者に打診・依頼	自治体が観光・商業事業者に打診・依頼	自治体が費用負担
伊東市	○	-	-	-
南伊豆町	-	-	-	○

＜今後の実施予定＞



	継続して実施	現在検討している施策がある	参考事例等を踏まえて今後検討したい	実施の予定はない
下田市	-	-	-	○
東伊豆町	-	-	○	○
河津町	-	-	○	-
南伊豆町	○	-	-	-
松崎町	-	-	-	○
西伊豆町	-	-	-	○
沼津市	-	-	○	-
熱海市	-	-	○	-
三島市	-	-	-	○
伊東市	○	-	-	-
伊豆市	-	-	○	-
伊豆の国市	-	-	-	○
函南町	-	-	-	○
富士宮市	-	-	○	-
富士市	-	-	○	○
裾野市	-	-	-	○
御殿場市	-	-	-	-
清水町	-	-	-	○
長泉町	-	-	-	○
小山町	-	-	-	○
静岡市	-	-	-	-
島田市	-	-	-	○
焼津市	-	-	○	-
藤枝市	-	-	-	○
牧之原市	-	-	-	○
吉田町	-	-	-	○
川根本町	-	-	-	○
浜松市	-	-	○	-
磐田市	-	-	-	○
掛川市	-	-	-	○
袋井市	-	-	-	○
湖西市	-	-	○	-
御前崎市	-	-	○	-
菊川市	-	-	○	-
森町	-	-	-	○

◎とりまとめ

＜実施状況＞

・35市町のうち2市町が実施中(伊東市、南伊豆町)

＜混雑情報を発信している交通拠点＞

・伊東市は「鉄道駅」で混雑情報を発信
・南伊豆町は「バス停留所」で混雑情報を発信

＜発信している混雑情報の対象施設＞

・2市町とも、「観光施設を対象に混雑状況を発信」している

＜事業に関する自治体の関与状況＞

・伊東市は「自治体は主体的に実施していないが、交通・観光・商業事業者からの打診・提案を受けて、連携・調整を担っている」
・南伊豆町は「自治体が費用負担を行っている」

＜今後の実施予定＞

・2市とも「継続して実施」
・12市町が「参考事例を踏まえて今後検討したい」と回答

観光地や商業施設との連携に関する他県事例⑤

■「駅チカ、昼呑ミ」を合言葉に魅力発信と公共交通の利用促進をめざす「タンバッカスフェスティバル」	
自治体	提携先
兵庫県丹波市	タンバッカスフェスティバル実行委員会 生郷自治振興会 JR西日本 ひかみ東商工倶楽部

<事例の詳細>

【制度・事業の概要】

- ・住民らでつくる実行委員会が主催し、**地元酒造の地酒**などを振る舞うイベント
- ・地域の魅力発信や鉄道駅広場（JR石生駅前）での開催による**公共交通の利用促進**を図っている

【特長】

- ・市民主体の活動・イベントを通じて、鉄道事業者と地域双方の活性化を図ることができる。
- ・自身の**運転が不要となる公共交通の利点を活かし、自家用車利用以外の交通手段を訴求している。**

【成果・効果】

- ・市民主体の活動であり、行政の公的補助は比較的少ない（令和5年度丹波市活躍市民によるまちづくり事業応援補助金：248,000円）

< チラシイメージ >

出典)タンバッカスフェスティバル実行委員会

<備考>

なし

<出典>

タンバッカスフェスティバル2024(兵庫丹波観光ネットワーク推進委員会)

<https://www.burari-tambaji.com/event/486>

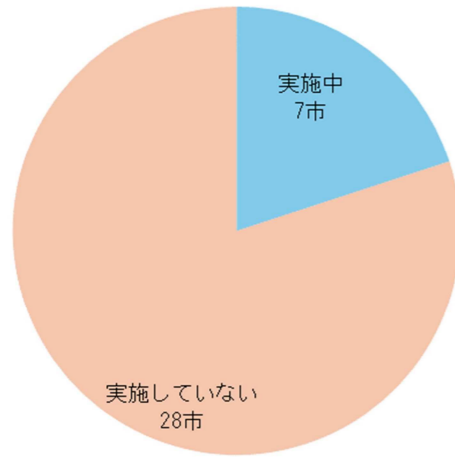
令和5年度丹波市活躍市民によるまちづくり事業応援補助金活動報告を作成しました。(丹波市)

<https://www.city.tamba.lg.jp/soshiki/shiminkatsudoka/gyomuannai/6/1/katsuyakushimin-houkoku.html>

期待される効果	実現に向けた留意点
・イベントなどとの連携により、地域の活性化と公共交通の利用促進が期待される	・イベント開催者と交通事業者との連携が必要であり、必要に応じて行政による調整が求められる

◎沿線の観光イベントと連携した地域公共交通の利用促進について

＜実施状況＞



実施市町
南伊豆町
熱海市
富士宮市
焼津市
藤枝市
吉田町
浜松市

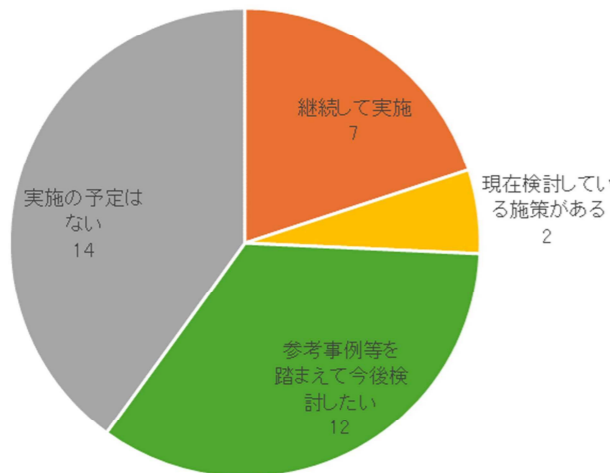
＜連携している観光・商業イベント＞

実施市町	自家用車で来場推奨が難しい地酒・酒造等のイベント	自家用車を運転できない児童・学生向けのイベント（自治体主催の宿泊学習など）	自家用車の運転が難しい高齢者向けのイベント（地域サロン・地元懇親会・地域意見交流会など）	利用の少ない公共交通を利用するきっかけとなるイベント	自由意見
南伊豆町	-	-	-	○	
熱海市	○	-	○	-	観光協会等主催のビール祭り、高齢者サロンへのボランティア運行
富士宮市	-	○	-	○	
焼津市	-	-	-	○	市営バス・路線バスを利用し市内のスポットを巡るミニツアーを企画している。
藤枝市	-	○	-	-	毎年10月にバスストリートイベントを実施（バス、タクシー、消防車などの車両展示、バスの乗り方、乗務員募集ブース）
吉田町	-	-	○	-	高齢者の「通いの場」への移動、県営吉田公園等で開催されるイベント
浜松市	-	-	-	○	地域に密着したイベントにおいて地域バスを臨時運行させることで、イベントの誘客及び地域バスの利用促進を図っている。

＜事業に関する自治体の関与状況＞

実施市町	自治体は主体的に実施していないが、交通・観光・商業事業者からの打診・提案を受けて、連携・調整	自治体が交通事業者に打診・依頼	自治体が観光・商業事業者等に打診・依頼	自治体が費用負担	自由意見
南伊豆町	-	-	-	-	
熱海市	○	-	-	-	
富士宮市	-	-	○	○	
焼津市	-	-	-	-	基本的に運賃以外の費用は発生せず、運賃は参加者各自で負担している。
藤枝市	-	-	-	○	
吉田町	-	-	-	○	
浜松市	○	-	-	-	

＜今後の実施予定＞



	継続して実施	現在検討している施策がある	参考事例等を踏まえて今後検討したい	実施の予定はない
下田市	-	-	-	○
東伊豆町	-	-	-	○
河津町	-	-	○	-
南伊豆町	○	-	-	-
松崎町	-	-	○	-
西伊豆町	-	-	○	-
沼津市	-	-	○	-
熱海市	○	-	-	-
三島市	-	-	-	○
伊東市	-	○	-	-
伊豆市	-	○	-	-
伊豆の国市	-	-	-	○
函南町	-	-	-	○
富士宮市	○	-	-	-
富士市	-	-	○	-
裾野市	-	-	○	-
御殿場市	-	-	-	○
清水町	-	-	-	○
長泉町	-	-	-	○
小山町	-	-	-	○
静岡市	-	-	-	○
島田市	-	-	-	○
焼津市	○	-	-	-
藤枝市	○	-	-	-
牧之原市	-	-	○	-
吉田町	○	-	-	-
川根本町	-	-	○	-
浜松市	○	-	-	-
磐田市	-	-	○	-
掛川市	-	-	-	○
袋井市	-	-	-	○
湖西市	-	-	○	-
御前崎市	-	-	○	-
菊川市	-	-	○	-
森町	-	-	-	○

◎とりまとめ

＜実施状況＞

・35市町のうち7市町が実施中（南伊豆町、熱海市、富士宮市、焼津市、藤枝市、吉田町、浜松市）

＜連携している観光・商業イベント＞

・南伊豆町は「利用の少ない公共交通を利用するきっかけとなるイベント」を実施
 ・熱海市は観光協会等主催のビール祭りや高齢者サロンへのボランティア運行を実施
 ・富士宮市は「自家用車を運転できない児童・学生向けのイベント」、「利用の少ない公共交通を利用するきっかけとなるイベント」を実施
 ・焼津市は市営バス・路線バスを利用し市内のスポットを巡るミニツアーを企画している。
 ・藤枝市は毎年10月にバスストリートイベントを実施（バス、タクシー、消防車などの車両展示、制服着用体験、乗務員募集ブース）
 ・吉田町は「自家用車の運転が難しい高齢者向けのイベント」を実施している
 ・浜松市は地域に密着したイベントにおいて地域バスを臨時運行させることで、イベントの誘客及び地域バスの利用促進を図っている。

＜事業に関する自治体の関与状況＞

・熱海市、浜松市は、「自治体は主体的に実施していないが、交通・観光・商業事業者からの打診・提案を受けて、連携・調整を担っている」
 ・富士宮市は「自治体が観光・商業事業者等に打診・依頼している」、「自治体が費用負担を行っている」
 ・藤枝市、吉田町は、「自治体が費用負担を行っている」

＜今後の実施予定＞

・7市町も「継続して実施」
 ・伊東市では来年度にハッピーライドプロジェクト in 静岡小学生バス無料デーと連携した観光施設等とのタイアップやバス利用啓発活動を検討中
 ・14市町が「参考事例を踏まえて今後検討したい」と回答

観光地や商業施設との連携に関する他県事例⑥

■沿線施設と連携した「日帰り路線バスパック」によるお出かけ機会の創出

自治体	提携先
青森県八戸市	南部バス 沿線施設(博物館・史跡・歴史資料館・神社・酒造・飲食店・地域の芸術オブジェ・温浴施設等)

<事例の詳細>

【制度・事業の概要】

- ・路線バスの1日乗車券と各施設の入場券をセットにしたお得なパック
- ・気軽に公共交通機関を利用して観光を楽しめる
- ・地域の観光施設を効率よく巡ることができ、地域の活性化に寄与

<パックの内容>

- 「博物館・史跡根城の広場バスパック」
博物館・史跡「根城の広場」の観覧料割引
(どちらか観覧:120円割引、両方観覧:200円割引)
- 「是川縄文館バスパック」
是川縄文間の観覧料割引(120円割引)
- 「榎引八幡宮国宝館バスパック」
榎引八幡宮国宝館の観覧料割引(100円割引)
- 「八戸酒造 酒蔵見学バスパック」
八戸酒造の酒蔵見学(試飲体験・市民ガイドの案内付)
- 「十和田市現代美術館バスパック」
十和田市現代美術館の観覧料割引(100円割引)及び復路バス運賃割引(240円)
- 「ごのへ馬肉料理バスパック」
提携飲食店(馬肉料理店)で割引セット料金の対応可能(300円程度割引)
- 「11ぴきのねこさがしバスパック」
「11ぴきのねこ」の石像を巡って、3箇所の写真を撮影して「おもてなし拠点」で提示すると「11ぴきのねこ」商品及び復路バス運賃割引券進呈(100円割引)
- 「南部町パーデパークバスパック」
プール・温泉・施設のレンタルセット・タオル等無料貸し出し、復路バス運賃割引券進呈(100円割引)

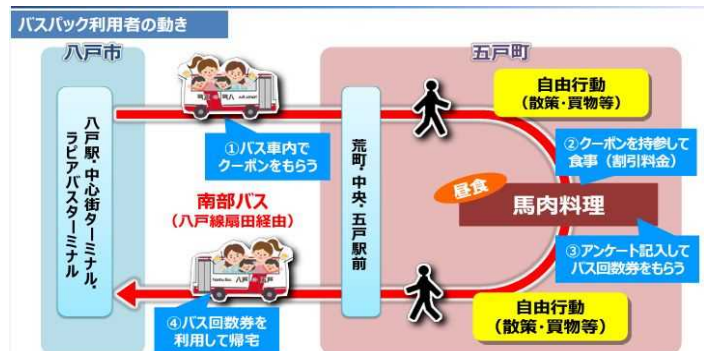


【特長】

- ・自治体や交通事業者で企画の立ち上げができれば、チケット等の印刷費のみで事業実施が可能
- ※持続可能な仕組みとするため、バス運賃及び施設利用料等の割引部分には補助を入れていない

【成果・効果】

- ・平成27年度利用実績は1,399件であり、路線バスを使った新たなお出かけの仕方が提案できている
- ・路線バスの利用促進にとどまらず、協賛施設及び周辺の施設の誘客につながっている
- ・「ごのへ馬肉バスパック」について見ると、利用者の約3割が普段ほとんどバスを利用しない人であり、新規需要の開拓に寄与している
(平成25~27年利用者アンケート調査より)



出典)八戸公共交通ポータルサイト

<備考>

なし

<出典>

日帰り路線バスパック～バスを使って気軽にお出かけ～(八戸公共交通ポータルサイト)

https://www.city.hachinohe.aomori.jp/section/public_transport/leaflet-plan/bus-pack/index.html

日帰り路線バスパックによるお出かけ機会の創出(八戸市都市整備部都市政策課交通政策グループ)

<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1611hachinohe.pdf>

期待される効果	実現に向けた留意点
・費用を最小限にしつつ、地域の観光・商業資源を活用した地域活性化や公共交通の利用促進が期待される	・市町・バス事業者・観光施設・商業施設等が連携して進めていく必要がある ・施設割引や公共交通の割引が必要のため、その負担割合や支援の範囲を明確にすることが必要